

多様化する 緑内障手術に 焦点を当てる

2023
9/9 (土)

17:10~18:00

開催：現地開催
オンデマンド配信(予定)
会場：第1・第2会場
(虎ノ門ヒルズフォーラム 5F メインホール)
共催：第34回日本緑内障学会
/エイエムオー・ジャパン株式会社

国内における失明原因第一位の疾患となっている緑内障に対して、医薬品の開発とともに緑内障手術に関しても新しい手術器具や新しい術式が開発されている。この緑内障手術における大きな出来事の一つは海外ではすでに広く使用されていたチューブシャント手術が国内でも施術できるようになったことではないでしょうか。チューブシャントデバイスとして日本で初めてバルベルト緑内障インプラントが承認、使用開始されてから10年以上が経過した。製造販売後調査を経て、条件を満たした施設であれば一般的に使用できるようになった。他の緑内障インプラントも追従して国内で使用が可能となり、緑内障治療、特に線維柱帯切除術を施術しても功を奏しない症例に対しての希望の光となった。近年ではリスクの少ない低侵襲緑内障手術(MIGS)の登場により緑内障手術の選択の幅も広がっている。

本セミナーでは緑内障手術に焦点を当て、最新の術式から難症例や合併症への対応まで、ご参加の先生方の診療への一助となるセミナーとしたい。

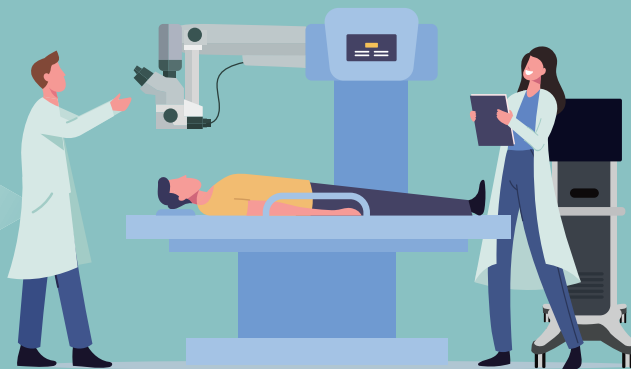
東京慈恵会医科大学



座長

中野 匡 先生

- 1987年 東京慈恵会医科大学医学部卒業
- 1989年 東京慈恵会医科大学眼科学講座助手
- 1993年 東京労災病院眼科医員
- 1995年 神奈川県立厚木病院眼科主任医長
- 2005年 東京慈恵会医科大学眼科学講座講師
- 2013年 東京慈恵会医科大学眼科学講座准教授
- 2017年 東京慈恵会医科大学眼科学講座主任教授
- 2019年 東京慈恵会医科大学附属病院副院長兼任



新潟大学



赤木 忠道 先生

多様化する 緑内障手術の適応と戦略

- 1998年 東北大学医学部卒業
- 1998年 京都大学医学部附属病院
- 2004年 天理よろづ相談所病院
- 2010年 京都大学大学院医学研究科眼科学教室特定助教
- 2013年 京都大学大学院医学研究科眼科学教室講師
- 2016年 カリフォルニア大学サンディエゴ校留学
- 2018年 京都大学大学院医学研究科眼科学教室准教授
- 2021年 新潟大学大学院医歯学総合研究科眼科学准教授

熊本大学



高橋 枝里 先生

熊本大学における バルベルトの使用経験

- 2002年 熊本大学医学部卒業
- 熊本大学医学部附属病院
- 2003年 熊本中央病院
- 2004年 熊本大学眼科医員
- 2009年 熊本大学医学薬学研究所大学院修了
- 2010年 国立病院機構熊本医療センター
- 2011年 熊本大学眼科助教
- 2017年 Yale School of Medicine留学
- 2019年 熊本大学眼科講師
- 2022年 熊本大学眼科准教授